

JPF 国際人口問題議員懇談会

Japan Parliamentarians Federation for Population

NEWS LETTER

No.4 September 2013

● フィリピン「第29回 APDA 会議」で人口・開発分野における国会議員活動の重要性と日本のイニシアティブを表明

8月28～30日に国際人口問題議員懇談会(JPFP)事務局を務める(公財)アジア人口・開発協会(APDA)は、「第29回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議(APDA 会議)」および「人口・開発視察事業」をフィリピンで開催しました。「文化の多様性と人口問題」というテーマのもと、14カ国33名の国会議員をはじめ、国内委員会代表、国連機関、専門家、市民団体など総勢70名が参集しました。日本からは、福田康夫元内閣総理大臣・APDA理事長・JPFP名誉会長、生方幸夫JPFP副会長、阿部俊子外務大臣政務官・JPFP女性問題部会長、熊谷大参議院議員が参加し、人口分野における日本のプレゼンスを示すとともに、アジアの国会議員の主体的役割と連携の重要性を強調しました。



福田康夫 JPFP 名誉会長は開会挨拶の中で、今回ホストを務めたフィリピン人口・開発議員委員会(PLCPD)の14年にわたる努力によってリプロダクティブ・ヘルス(RH)法が成立したことに対し、「この経験はアジアのみならず、アフリカなどにおいて同様の問題に悩んでいる国々にとって大きな意味を持つ」とし、「各文化を代表している国会議員には、それぞれの文化が受け入れられる解決策を見出し、強化する役割がある」と述べました。

また、閉会挨拶の中で**阿部俊子外務大臣政務官・JPFP 女性問題部会長**は、歴史的な意味を持つRH法制定におけるPLCPDの主導的役割と、宗教関係者を巻き込んだ長年の啓発努力に敬意を表し、お祝いを述べました。PLCPDは日本とともに、人口と開発に関するアジア議員フォーラム(AFPPD)創設期からのメンバーであり、AFPPDの発展に大きな貢献をしてきたことを高く評価し、この分野における国会議員の協力関係の一層の強化に期待を寄せました。



生方幸夫 JFPF 副会長は、JFPF がこれまで与野党協力し、超党派でこの人口問題に取り組み、特にアジアにおける国会議員活動でイニシアティブを取ってきたこと、この取り組みを行う上で、29 回にわたって継続的に開催されてきた APDA 会議が重要な役割を果たしてきたことを説明しました。さらに参加者には、人口問題の解決に向け、それぞれの国で中心的役割を担っていただきたいとエールを送り、JFPF が今後もアジア国会議員の連携強化に積極的に関わっていくことを表明しました。



熊谷大参議院議員(宮城県宮城選挙区選出)は、視察にも参加し、全体の総括セッションで閉会挨拶を行いました。その中でまず 2011 年の東日本大震災・大津波の際にアジア各国から寄せられた温かい支援に感謝の意を表するとともに、今回の会議と視察を通して文化的多様性への対応策をフィリピンの経験から学ぶことができ、今後も「JFPF は APDA とともにプログラムを実施し、実際に参加する中で人口問題の解決に努力していきたい」と述べました。



国際人口問題議員懇談会(JFPF)事務局
(公財) アジア・人口開発協会(APDA)

TEL: 03-5405-8846

FAX: 03-5405-8845

E-mail: apda@apda.jp

Website: <http://www.apda.jp>

入会をご希望の方は、apda@apda.jp までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

次月号は 2013 年 9 月後半に配信いたします。

尚、本ニュースレターの配信停止をご希望の方は apda@apda.jp までお願いいたします。